

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第4回産業経済部会
開催日時	平成28年 4月25日 18時 00分 ～ 20時 00分
開催会場	駅前交流プラザ「よろ～な」 2階 会議室4
出席委員	扇谷部会長、田中副部会長、野間井委員、宮崎委員、石垣委員、今井委員
事務局出席者	水間営業戦略室長、山田農務課長、倉澤営業戦略課長、池田営業戦略課主幹、山本企画課主事
報告事項	市立大学 清水池委員が退職により欠員となったが、欠員補充せずに現体制で検討を進める。
審議事項	<p>第2次総合計画の主要施策及び基本事業について（検証）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業の振興 ・ 工業の振興 ・ 雇用の安定 ・ 観光の振興
発言内容	<p>商業の振興</p> <p>■委員</p> <p>商業団体支援とは具体的にどのようなものか。 商店の支援をどのようにやっていくのか。補助金、店舗改修について具体策など示してもらえれば、商店街の方も耳を傾けてくれると考える。</p> <p>○事務局</p> <p>店舗数を維持するために、中小企業振興条例の中にある補助金で支援させていただいている。今後、時代にあった内容に随時変更していく。</p> <p>商工会議所、関係団体へ財政的な支援を計画している。 店舗への支援についてはこれまでもやってきた。これまでは、事業拡大の場合に補助対象としていたが、これからは、事業が長く続けられるような支援についても考えている。</p> <p>■委員</p> <p>商業は補助のメニューが少ないと思う。大型店舗の進出により、店舗数はどんどん減少していくなか、新たに店舗を開いた方も商店街会員に入らないところもでてきている。</p>

■委員

現在の商店街では、事業を長く続けていくという将来の展望が無くなってきている。先を見据え、次に繋がるような補助制度（中小企業振興条例）を現在市が考えている。

■委員

カラー刷り配布資料3ページの部分は、様式1とどのようにリンクするのか。

○事務局

カラー刷りのものは、1次計画の文言を変更したもので参考として考えていただきたい。

■委員

コンパクトシティを国で進めている。
中心市街地が空洞化していく中で、商業、人口を集積していかなければ、分散化したまちになってしまう。集積していく中で、コミュニティ、地域の活性化を図っていくことが必要ではないかと考える。

工業の振興

■委員

工業も商業と同じ課題があると考えます。
様式1の内容については、人材の育成についてももう少し強く入れても良いと考えます。
家を建てる際には、様々な職人が必要となるが、現状、名寄市だけではまかないきれなくなっている。技術の継承が必要である。

■委員

工業の新しい技術とは何を想定しているのか。

○事務局

食品の加工、土管業なども含めた技術開発を想定している。

■委員

コンクリートや木材の加工などは工業という言葉で想像がつくが、食品の加工については、工業の振興だとイメージがわからない。

■委員

地域ブランドという言葉があるが、今後そういったものもここに入ってくるのか。

○事務局

企業立地については、商業・工業どちらも含むが工業に入れている。
道でも、企業立地を積極的に行っている。その中で、道からの支援をいただくためには、名寄の対象業種と道の対象業種を合わせる必要がある。

■委員

総合計画が冊子になった際には、市民が見てわかるようになっていないといけないと思うので、誰が見てもわかるように書きぶりを工夫してほしい。
農商工連携のイメージで、広い範囲でくくったほうがわかりやすいかもしれない。

■委員

名寄でいうと商業、工業のわけが難しい。一つにまとめるか、しっかりわかる（製造業は食品製造業、機械製造業など）かするほうが市民は見やすいと考える。

■委員

事務局で少し検討してほしい。

■委員

商工会議所において、商業と工業の分け方について明確な基準はあるのか。

■委員

経済センサスでの分け方になるのではないか。会議所で明確な区分についての話は、着任してからしたことは無い。

■委員

前回の計画同様、欄外に説明文を載せることでわかるようになるならそういった形でも良いと考える。

■委員

手法を含めて、事務局で再度検討をお願いする。

雇用の安定

■委員

雇用について、建設業に特化するとして良いのか。福祉人材や看護人材なども人材不足と聞いているが、そちらは記載しなくていいのか。

パート労働者の記述があるが、女性が働きやすいなど女性の社会進出などの文言は入れなくてよいのか。

○事務局

この部分は雇用全体の話になるが、それぞれの部会において福祉、看護などの記載もしていくと考えられる。また、労働条件の改善についても、男女共同参画の部分でふれられると考えられるので、事務局により確認し調整を行う。

■委員

定年制の延長についてはふれないのか。

○事務局

年金との接続という面では、それぞれの事業所で決めていくこととなると思うが、少子化により若年層が減少していく中、60歳以上の方々は貴重な労働力となると考える。

■委員

今後、労働力を確保するため定年者の再雇用などが企業でも考えられると思うが、計画の中で多少ふれられれば良いかと思うので、事務局に検討をいただきたい。

観光の振興

■委員

外国人の観光については、この部会ではやらないのか。

○事務局

インバウンドのくくりだと、観光に入るが、国際交流の関係になるので総務部会で議論する。

■委員

市の組織改編により、営業戦略課から交流部門が分かれたが、交流・合宿も観光に含まれるのではないか。

○事務局

合宿については、教育部で新たにスポーツ合宿推進課ができたことにより、スポーツ分野は教育部の所管となる。合宿についての窓口は、教育部に移ったが、合宿で人が来れば、交流人口の拡大、宿泊施設の利用増加など、観光分野に関係性が多いので、今後も連携して事業を進めていく。

決定事項等

- ・ 次回、5月11日（水）
- ・ 農業施策の検討に入る。